

令和 6 年度 延岡市立上南方小中学校 学校評価

第 4 回学校運営協議会（まとめ）

日時 令和 7 年 2 月 18 日（火）10:00～11:30

会場 上南方小中学校 中学部学習室

内容 (1) 青柳会長あいさつ

(2) 校長あいさつ

(3) 令和 6 年度実践報告

(4) 令和 6 年度会計報告

(5) 令和 6 年度学校評価について

※ 評価 & 学校運営協議会委員コメント

(6) 令和 7 年度の取組について

(7) その他



令和6年度 延岡市立上南方小中学校【学校関係評価】 No.1

○ 4段階評価（「4 とてもそう思う」「3 まあそう思う」「2 あまりそう思わない」「1 全くそう思わない」） 数値は全回答の平均値

評価項目		質問項目	児童生徒		保護者		教職員		成果の考察と改善策（○成果、●課題、▷改善点）	学校運営協議会委員コメント	評価
			昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度			
学力の向上【勤勉】	1	学校は授業において、子どもの「主体的に学ぶ力、対話的に学ぶ力、深く考える力」（ひなたの学び）を育成しようとしていますか。	3.5	3.4	3.1	3.3	3.2	3.7	○教職員の評価が高かった。校内研究で「ひなたの学び」を意識した授業改善により協働学習ができるようになった。 ●各種テスト(学力・実力・単元)の結果を見ると不十分な定着があり、個に応じた指導が必要である。 ▷児童生徒が主体となる授業改善を進めていく必要がある。	更に授業改善を続けていただき、加えて児童生徒が主体となる工夫を進めていただければ、なお良いと思います。	3
	2	学校は、タブレット、テレビなどを授業の中で効果的に活用していますか。	3.5	3.5	3.2	3.4	3.5	3.0	○保護者の評価が上がった。児童生徒や教師が積極的にタブレット等を活用して授業を行っている成果である。 ●教師の活用スキルに差がある。今後も研修を継続し、効果的な活用方法を深める必要がある。 ▷ICT指導員のアドバイスや校内研修や教師間の情報共有。 ▷キュビナの活用やICTの効果的な活用方法を高める研修。	児童生徒のタブレット活用については、毎日使用していて浸透している。	4

○ 4段階評価（「4 とてもそう思う」「3 まあそう思う」「2 あまりそう思わない」「1 全くそう思わない」） 数値は全回答の平均値

評価項目	質問項目	児童生徒		保護者		教職員		成果の考察と改善策（○成果、●課題、▷改善点）	学校運営協議会委員コメント	評価	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度				
学力の向上【勤勉】	3	学校は学級通信やプリントを通じて日々の課題の内容や長期休暇課題の内容を家庭に伝えていますか。また参観日で家庭学習について話題にしていますか。	3.3	3.6	3.4	3.5	3.6	3.5	○各学年、学級通信や帰りの会の授業連絡で課題の確認をした。長期休暇前や学級懇談(面談)で課題一覧表を配付し、家庭と連携した学習指導を推進した。 ●評価は高いが、「あまりそう思わない」児童生徒、保護者がそれぞれ4%いる。 ▷主体的に家庭学習に取り組み、学力が高まるような授業づくりを行う。	○児童生徒の数値が昨年度より高まった。 ○家庭における学習の取組も高まっている。	4
	4	学校は子どもの進路選択や地域を大切にする心の育成のために表現の場や活動の場（授業・学校行事・交流活動）を設定していると思いますか。	3.5	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	○学校の活動の中で児童生徒が主体的に考え表現・活動する場面が増えた。学校行事(PTA活動)や交流活動は制限なく行うことができた。 ●例年(前年度)どおりの活動内容でなく、ブラッシュアップし、不易なものと変化すべきことを見極める必要がある。 ▷郷土愛の育成(自然体験・創作活動)を通して、児童生徒の表現・活動の場を設定し、達成感を味わい、成長を実感できる場面を更に増やしていく必要がある。	○活動はできたが、結果から達成感が感じられない子どももいる。 ○子どもたちがたくさんの行事に対して受け身になっている傾向が感じられる。	3

令和6年度 延岡市立上南方小中学校【学校関係評価】 No.3

○ 4段階評価（「4 とてもそう思う」 「3 まあそう思う」 「2 あまりそう思わない」 「1 全くそう思わない」） 数値は全回答の平均値

評価項目	質問項目	児童生徒		保護者		教職員		成果の考察と改善策（○成果、●課題、△改善点）	学校運営協議会委員コメント	評価
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度			
心の教育の充実【礼節】	5 学校は子どもにとって安心安全で、自分を表現でき、よりよい人間関係を築ける場所であるように見守り支援していると思いますか。	3.5	3.5	3.2	3.3	3.5	3.4	○昨年度とほぼ同じ評価である。毎月のいじめアンケート、毎学期の教育相談を計画的に実施し、情報を集めながら児童生徒を見守り支援することができた成果である。 ●事後指導の充実、家庭へのこまめな連絡が必要である。（良いことも含む） △学級通信の返信、電話連絡（家庭訪問）を行い、保護者や地域からの情報収集。 △はげまし隊や地域ボランティアからの情報収集。	充分な支援ができていると感じられる。	4
	6 学校は週1回の道徳教育や人権教育、学校行事によって、あいさつなどの礼儀やルールなどの規範意識を身に付けられるような指導や子どもたちに思いやりや感謝の心を育む指導を行っていると思いますか。	3.5	3.6	3.2	3.4	3.4	3.4	○全体的に評価が高い。児童生徒と保護者の評価が昨年度より上がっている。家庭に学校の授業や人権週間の内容が伝わっている状況である。（中学部：道徳の授業は全職員で実施。） ●今年度、SNSのトラブルがあった。不登校傾向の児童生徒がいる。人間関係の指導の継続が必要である。 △普段の授業や行事等で思いやりのある行動が見られた場面に児童生徒を称賛し、自己有用感を高めていきたい。 △教育相談の充実、職員間の情報交換。 △早期発見、全職員での関わり。	児童生徒に接する機会が多いので、よくあいさつしてくれる。（学校、地域でも）	4

令和6年度 延岡市立上南方小中学校【学校関係評価】 No.4

○ 4段階評価（「4 とてもそう思う」 「3 まあそう思う」 「2 あまりそう思わない」 「1 全くそう思わない」） 数値は全回答の平均値

評価項目	質問項目	児童生徒		保護者		教職員		成果の考察と改善策（○成果、●課題、▷改善点）	学校運営協議会委員コメント	評価
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度			
体力の向上 【鍛錬】	7 学校は健康で安全な過ごし方、命を守る方法について指導していると思いますか。 ○保体の授業 ○避難訓練 ○学校保健委員会	3.7	3.7	3.3	3.5	3.7	3.6	○評価は大変高い。避難訓練は学期一回、学校保健委員会、メディア講話など保体安全部を中心に実施した成果である。 ●地域と共にに行う安全教育ではなく学校単独で行っている現状がある。 ▷災害の発生状況や予想、児童生徒の現状を踏まえ、必要な保健・安全教育内容を保護者・地域とともに検討していく。	学校でも定期的に訓練されており、子どもたちの認識もついてきているので引き続き行っていた だきたい。	4
	8 学校は規則正しい生活の確立をめざして「三点（起床時間・学習時間・就寝時間）固定」「メディアコントロール」について指導していると思いますか。	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	○昨年度とほぼ同じ評価である。「三点固定」は日常指導や保健だよりで繰り返し呼びかけ、メディアコントロールは学校保健委員会でも講話を通じて周知した。 ●児童生徒の規則正しい生活習慣定着を目指し、継続した取組が必要。 ▷今後もアンケート等により児童生徒の実態を把握し、タイミングよく課題に対する手立てを打つ必要がある。	継続的にメディアコントロールについては指導していただきたい。	3

令和6年度 延岡市立上南方小中学校【学校関係評価】 No.5

○ 4段階評価（「4 とてもそう思う」「3 まあそう思う」「2 あまりそう思わない」「1 全くそう思わない」） 数値は全回答の平均値

評価項目	質問項目	児童生徒		保護者		教職員		成果の考察と改善策（○成果、●課題、▷改善点）	学校運営協議会委員コメント	評価
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度			
連携と協力	9 学校は、学校だより、HP、メールなどを通して学校の情報を保護者や地域に発信していると思いますか。	3.4	3.5	3.4	3.5	3.8	3.7	○全体的に評価がたいへん高い。学校だより、学級通信、HP、メールによる情報発信はかなり充実している。 ●地域への発信方法について工夫が必要。 ▷教育活動の様子や児童生徒の頑張りを継続して発信する。学校だよりの地域回覧やHPのPR、またあんしんメールを活用した情報発信も取り入れていく。 ▷子どもたちが主体となる学校PR活動。	○HP、メールで情報が発信されて良かった。 ○校長先生の学校通信がとっても良かった。	4
	10 学校は保護者や地域と連携して教育活動を行っていると思いますか。 ○PTA活動 ○はげまし隊 ○学校支援ボランティア	3.6	3.7	3.5	3.5	3.7	3.6	○全体的に評価が高い。連携・協力した活動ができている成果だと思う。PTA活動は制限なく行うことができた。地域行事も復活してきた。 ●学校運営協議会を軸とした地域との連携・実践の在り方について考えていく必要がある。 ▷学校運営協議会、PTA執行委員会で、無理のない範囲で連携・協力した活動の在り方を探っていく。	○地域の方々との活動が盛んにあった。 ○中学生との関わりがあるともっと良かった。（お仕事紹介等）	4